

施策番号	2305		
施策名	公共建築物の先導的整備		
概要	既存公共建築物の最適維持管理の取組を推進するため、耐震化、省エネルギー化、バリアフリー化を含めた計画的改修・修繕を行い、施設の安全性の確保と質の向上を先導的に行う。また、公共建築物の整備に当たっては、京都らしい環境配慮建築物とすること及び景観政策のモデルとなるよう率先的に取り組む。		
担当局・部室	都市計画局・公共建築部	共管局・部室	
上位政策	23 建築物		
施策に関する主な分野別計画等	京都市建築物耐震改修促進計画		

施策の評価

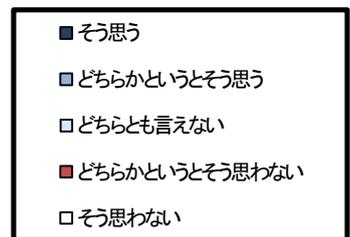
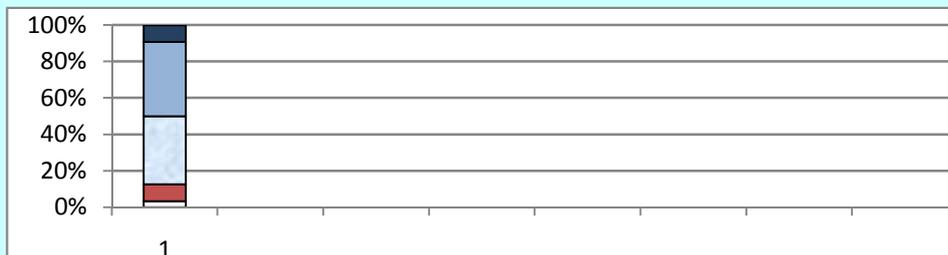
1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 市有建築物の耐震化率(%)	-	-	71.4	73.1	74	98.8%	b	1.00
2 市有建築物のCASBEE京都高評価取得率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価							b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 バリアフリー化された建物が増えている。	48 9.1%	216 40.9%	197 37.3%	49 9.3%	18 3.4%	528	b	
2 -								
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価								b



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					年度	-
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	b	<input type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 公共建築物の安全性や質の向上については、耐震化や省エネルギー化など市民がその効果を実感しにくい場合があるため、客観指標を重視する。						年度	-
(原因分析) ・市有建築物の耐震化率については、耐震診断の実施により、一部の施設について耐震性能を有することが判明したため、前回数と比べて向上している。						年度	-

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

- ・京都市建築物耐震改修促進計画の対象施設で、耐震診断未実施の施設について、引き続き耐震診断を実施し、耐震化を進めていく。
- ・また、公共建築物の整備に当たっては、平成23年度から、CASBEE京都の運用が開始されることから、高評価取得を目指し、京都らしい環境配慮建築物となるように取り組んでいく。

施策名	2305	公共建築物の先導的整備									
指標名	市有建築物の耐震化率 (%)										
担当課	企画設計課, 整備支援課		連絡先	222-3640							
1 指標の説明											
耐震化された市有建築物※の割合 ※交通局, 上下水道局所管施設, 教育委員会所管の学校及び市営住宅を除く											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
市有建築物の地震に対する安全性を示す指標			出典: 事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度					
	21年度	22年度		数値	根拠						
数値	71.4	73.1	1.7ポイント増	74	中長期目標を達成するために定めた単年度目標値 (前年度数値から毎年度3%増加)	98.8%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値		90%	27年度		京都市建築物耐震改修促進計画						
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
目標値に対する達成度が a: 100%以上 b: 95%以上~100%未満 c: 90%以上~95%未満 d: 85%以上~90%未満 e: 85%未満		目標値に対する達成度が100%以上の場合をaとし, 5%刻みで基準を設定した。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>b</td> </tr> </table>				23	-	-	b
		23									
-	-	b									

指標名	市有建築物のCASBEE京都高評価取得率 (%)										
担当課	企画設計課		連絡先	222-3640							
1 指標の説明											
新築した市有建築物※ (延床面積300㎡以上) において, 京都らしい環境配慮建築物を適切に評価・誘導するための京都独自のシステムであるCASBEE京都による高評価取得の割合 ※交通局, 上下水道局所管施設及び市営住宅を除く											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
市有建築物が京都らしい環境配慮建築物になっているかを示す指標			出典: 事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度					
	年度	22年度		数値	根拠						
数値	-	-	(100)	すべての新築する市有建築物 (延床面積300㎡以上) において, CASBEE京都の高評価取得を目指す。	-						
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値		100%	24年度		CASBEE京都は平成23年度から運用を開始するため, 平成23年度以降に新築等される建築物を対象とする。よって, 評価は次年度から行う。						
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新数値が a: 100% b: 75%以上~100%未満 c: 50%以上~75%未満 d: 25%以上~50%未満 e: 25%未満		CASBEE京都による高評価取得の割合が100%であれば, 政策目的の達成として, 100%をaとし, 25%刻みで基準を設定した。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>				23	-	-	-
		23									
-	-	-									